

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

台風と大雨による被災地の皆さまに心からお見舞い申し上げます。10月も後半となり、やっと秋の気配が感じられるこの頃、如何お過ごしでしょうか。

さて小松島市は、散歩の範囲に港がある町です。今回は、天気の良い日の小松島市の日赤病院前から、港へ向けての30分程度の散策です。①レンガと石積みの洒落た水路沿いを歩き、②SLモニュメントがある公園脇を進み、③木陰の遊歩道を、④大狸のいる広場を越えてズンズン行って、まっすぐドンドン歩きます。信号交差点を越えともう港です。立派な街路樹、風の吹く公園を通り過ぎると、やがて、陸と海の境にあるウッドデッキに到着します。

ここでグルッと周りを見ると、船あり、造船所あり、防波堤あり、対岸には和田島、後方に日の峰と、(個人的には) ちょっとだけ寂寥感を伴った、いい雰囲気的空間だと気がつきます。風の吹く公園、みなとオアシスなど付近を散策すると、自然と一体に上手く計画されて、適度に人の手が入り、でも時間の経過と共に変わりゆく空間が持つ良さを色々発見できると思います。私は風の吹く公園で立派な木を見つけました。

皆さんが見つけたものを教えてください。

令和元年10月23日 小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸



STU48号 徳島小松島港に初寄港！！

9月18日、船上劇場STU48号が徳島小松島港本港地区に初寄港しました。当日のセレモニーでは初寄港の記念として、後藤田徳島県副知事、濱田小松島市長がSTU48の旗を振り、記念盾を贈呈して歓迎の意を表しました。また、徳島県出身のSTU48メンバーである三島遥香さんが代表として挨拶をされ、瀬戸内の良さを全国や世界に発信できるグループを目指していきたいと意気込みを語っておられました。

セレモニーには、沢山の来賓(当所の小田所長も招待されました)、県や小松島市の関係者が参加し、その後披露された船上パフォーマンスでは大変盛り上がりしました。パフォーマンスの舞台となる船上劇場は、ステージと客席の距離が近いこともあり、エネルギッシュで迫力のある歌とダンスはそのまま彼女達のひたむきさ、真っ直ぐな思いを私たちに伝えてきました。寄港当日の夜には県内外から集まったファン約300人が船上コンサートを楽しみ、小松島の町を賑やかにしてくれました。

※STU48とは、Se-To-Uchi(瀬戸内)が由来の、瀬戸内エリアを本拠地としているアイドルグループ。

劇場船STU48号の船上劇場にて、歌やダンス、トークで構成される公演を各港で行っています。



迫力のある船上でのパフォーマンス



挨拶をされる三島遥香さん(徳島県出身)

